

作業時間が少なくなる(従来の1/4に)

当社実験結果による

既存製品
作業時間12分9秒

作業手順	各時間 (分.秒)	合計時間 (分.秒)
1 板ばねを外す	40	40
2 レールを移動する	38	1.18
3 ねじくぎを外す	50	2.08
4 床板を外す	17	2.25
5 元穴を埋める(込み栓)	2.15	4.40
6 床板を大体の位置に戻す	13	4.53
7 レールを床板上に乗せる	34	5.27
8 板ばねを仮締結する	47	6.14
9 調整作業を行う(パール使用)	28	6.42
10 穴開け前の当たりを取る	46	7.28
11 下穴を開ける(再穿孔)	2.02	9.30
12 ねじくぎを打ち込む	1.02	10.50
13 軌間の確認をする	40	11.30
14 板ばねを本締結する(トルク)	39	12.09
合計		12.09

無道床軌間調整タイプレート(在来線用)
作業時間3分8秒

作業手順	各時間 (分.秒)	合計時間 (分.秒)
1 ねじくぎナット(SLN)を外す	39	39
2 上ラック駒を90度回転させる		
3 調整作業を行う(パール使用)	27	1.06
4 ラック駒を回転させて治める	15	1.21
5 ねじくぎナット(SLN)を締結する	1.09	2.30
6 軌間の確認をする	38	3.08
合計		3.08



**作業時間が1/4に!
(9分1秒減)**

作業手順が少なくなる(従来の1/2に)

当社実験結果による

既存製品 作業工程14工程 → 無道床軌間調整タイプレート(在来線用) 作業工程6工程

8工程減!

使用工具が少なくなる(従来の1/3に)

当社実験結果による

既存製品 使用工具数17工具 → 無道床軌間調整タイプレート(在来線用) 使用工具数6工具

11工具減!

再穿孔をしなくてよい

何度も同じところでねじくぎの抜き挿しをしなくて良い為、まくらぎの緊締力が維持出来ます

納入実績

- ・東海旅客鉄道(株)
- ・東日本旅客鉄道(株)
- ・西日本旅客鉄道(株)
- ・京浜急行電鉄(株)
- ・小田急電鉄(株)
- 他

特許取得
特許第5128192号

**EXCELLENT
Gauge Adjustment
Tie Plate**

— 軌間調整型タイプレート —

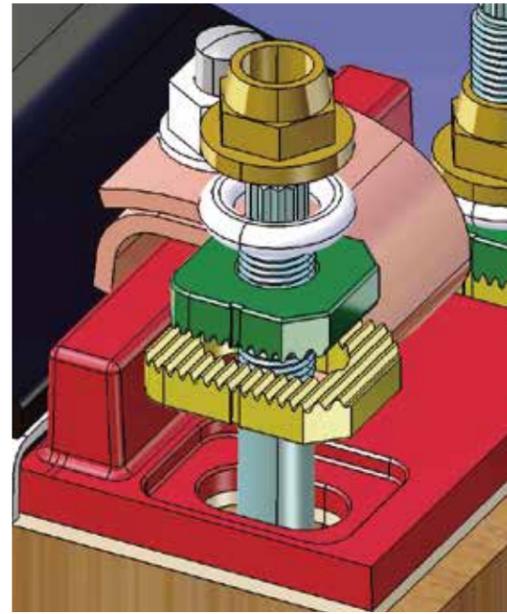


使用方法

軌間調整、通り整正、レール位置調整が必要な箇所に設置することで、ねじくぎの再穿孔をせずに最大16mmの調整が出来る調整型タイププレートです
ねじくぎ位置を軸として、ラック式の上下コマを左右に移動させることで、タイププレート位置を調整することが出来るので、施工精度抜群の安心タイププレートです

調整方法

- ・マルチ、ライナーを使った調整作業が可能です(検証中)
- ・人力施工による調整作業が可能です



付加価値

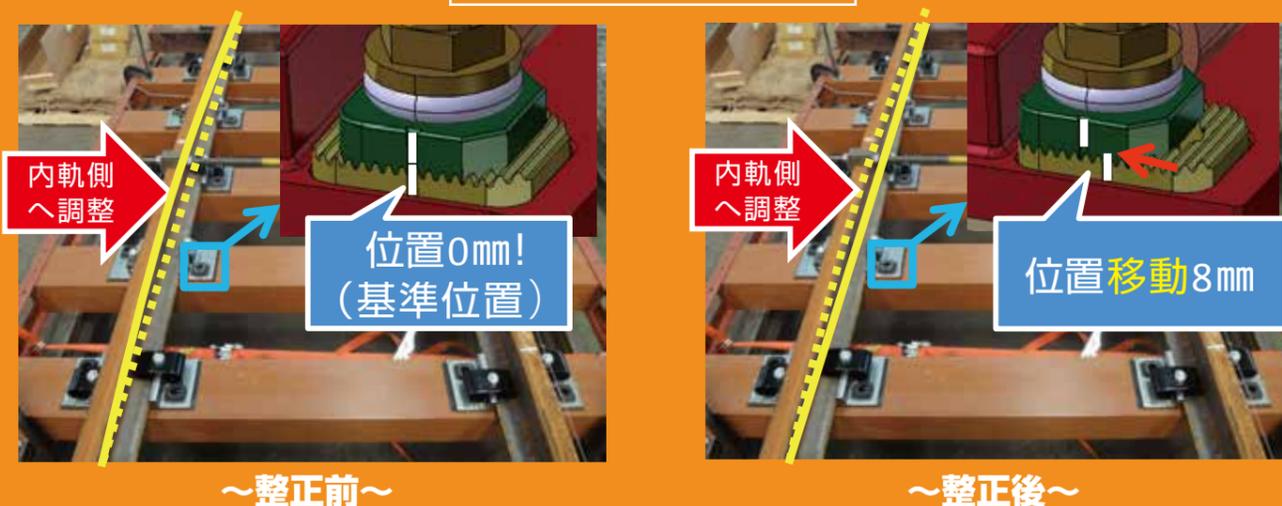
○施工作业の安全性の向上

- 施工時間の短縮—交換部材を持っていく必要がなく、現地にある部材のみで調整が出来ます
- 使用工具の減少—ねじくぎ抜き、まくらぎの補修作業がなくなるので持ち込み工具が減ります

○まくらぎの延命化、作業環境の向上

- まくらぎの延命化となりトータルコストの低減になります(コスト削減)
- ねじくぎの都度穿孔(再穿孔)が不要なため産業廃棄物が抑制できます(作業環境の改善)

使用例:通り整正作業



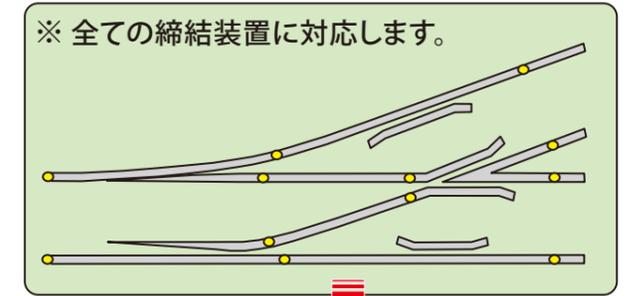
ラインナップ

<無道床軌間調整型タイププレート>



新幹線用 写真: JR東海提供(左側上下)

<分岐器用軌間調整型タイププレート>



在来線用(写真:ポイント部)

品名	在来線 60K用	在来線 50N用	新幹線 60K用
無道床軌間調整型タイププレート	○	○	○
分岐器用軌間調整型タイププレート	○	○	○

特徴

- ネジクギの再穿孔なし
- 軌間調整量、最大16mmまで可能

メリット

- 乗り心地の向上
- 作業環境の向上
- まくらぎの延命化
- 施工作业の安全性の向上
- 施工時間の短縮
- 保守整備の簡略化

※他、締結装置の開発承ります